

学校名 熊谷市立江南北小学校
所在地 熊谷市三本359
電話 048-536-1389

1 本校の概要

本校は、全校児童199名で、2年生以外は単学級の小規模校であり、今年151年目の伝統校である。豊かな自然に囲まれており、植物や虫に触れ合う機会に恵まれている。明るく素直で、外で体を動かすことを好む児童が多い。

本校の図書室は、児童が足を運びにくい位置にあることから、利用数を上げるために、図書委員会を中心に本に親しむ活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 自ら学ぶ力を養い、豊かな心を育てる学校図書館の活用

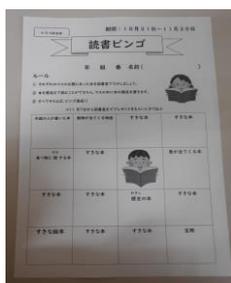
(2) 実践の概要

図書委員会での活動や図書ボランティアの協力により、本を利用した学びを展開している。

ア 読書ビンゴ

図書室を利用することを目的として行っている。マスに書かれたテーマに沿って本を借りることで、普段読む機会がない本にも触れることができた。

昨年度は1枚につき8冊の本を読むとビンゴだったが、今年度は15冊読むとビンゴにしたため、貸し出し冊数を増やすことができた。ビンゴを達成した児童には、図書委員オリジナル賞状を渡した。



イ 図書集会

今年度は、10月下旬に図書集会を体育館にて対面で行った。図書委員によるおすすめの本を紹介した。本をスクリーンに映して一人一冊ずつ紹介した。また、前期の本の貸し出しランキングを発表し、クラスの1位～3位の児童を表彰し、賞状を渡した。

ウ 図書室前の図書委員のおすすめの本の紹介コーナー設置

図書集会で紹介した本を図書室前に飾って紹介した。本の紹介を画用紙に書き、おすすめの原因を書いた。図書室に通う時に借りるきっかけとなった。



エ 図書ボランティアによる読み聞かせ

保護者のボランティアによる読み聞かせを行った。図書館補助員と本校の有志で集まる図書ボランティアにより、月に1回程度、昼休みに読み聞かせを行っている。低・中学年を中心として、どの学年も毎回楽しみに聞きに行っている。図書ボランティアがその回ごとにテーマを決め、図書室にある本を紹介してくれるため、児童は興味をもって本を借りている。また、地域の読み聞かせ団体「せせらぎの会」による読み聞かせも朝と昼休みに行った。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 児童が図書室を利用する機会をより多くつくるとともに、様々なジャンルの本に触れる機会とすることができた。それにより、読書の幅を広げ、図書室での貸出冊数を増やすことができた。読書月間には、賞状を渡すことでより意欲が高められた。
- ・ 委員会の児童が全校の前でおすすめの本を紹介することで、低学年から中学年の児童も図書室の本に興味をもつことができていた。

(2) 課題

- ・ さらに貸し出し冊数を上げるために、冬にも読書月間を設けるなどして、本に触れる機会を増やしていきたい。

(3) おわりに

今後も図書委員の児童を中心に読書活動を進めていき、地域との繋がりも大切にして、本に興味関心をもつ児童を育てていきたい。